

CASBEE®新潟 | 評価結果 |



■使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアルv.4.0、CASBEE-建築(新築)2016年版
 ■使用評価ソフト: CASBEE新潟v.4.0.1

1. 建物概要				
建物名称 建設地 用途地域 建物用途 竣工年 敷地面積 建築面積 延床面積 階数 構造 評価の段階 評価の実施日	(仮称)アルシェふるまち 新潟県新潟市中央区古町通13番町2900番5 第1種中高層住居専用地域、準防火地域 病院, 2018年12月 予定 2,750.52 m ² 1,009.97 m ² 2,378.93 m ² 地上3F RC造 実施設計段階評価 2018年3月12日	外観 図を シー		
2. CASBEE新潟の評価結果				
	B-	$BEE = \frac{Q \text{ 建築物の環境品質}}{L \text{ 建築物の環境負荷低減性}} = \frac{36.2}{51.1} = 0.7$		
S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★				
3. 新潟市の重点項目の評価				
1. 長寿命化の取組み 建築物を長く、安心・安全 に使い続けるために	平均スコア 2.5		バリアフリー計画 Q2.1.1.3 3.0 維持管理 Q2.1.3 3.0 設備の更新性 Q2.3.3 1.4	
2. 地震への取組み かけがえのない人命、財産 を守るために	平均スコア 2.2		耐震・免震・制震・制振 Q2.2.1 3.0 信頼性 Q2.2.4 1.4	
3. 大雨への取組み 大雨に強いまちづくりのた めに	平均スコア 3.0		雨水排水負荷低減 LR3.2.3.1 3.0	
4. 自然エネルギー利用の取組み 地球温暖化対策のために	平均スコア 4.0		建物外皮の熱負荷抑制 LR1.1 5.0 自然エネルギー利用 LR1.2 3.0	
5. 資源循環の取組み 持続可能な循環型社会づく りのために	平均スコア 3.0		節水 LR2.1.1 3.0 躯体材料以外でのリサイクル材の使用 LR2.2.4 3.0 部材の再利用可能性向上への取組み LR2.2.6 3.0	
6. 水と緑を活かす取組み 豊かな自然環境を次世代 に引き継ぐために	平均スコア 1.5		生物環境の保全と創出 Q3.1 1.0 敷地内温熱環境の向上 Q3.3.2 2.0	
7. 新潟のまちらしさへの取組み 地域の個性や魅力を活か したまちづくりのために	平均スコア 3.0		まちなみ・景観への配慮 Q3.2 3.0 地域性への配慮、快適性の向上 Q3.3.1 3.0	
4. 新潟市の重点項目の配慮事項				
高エネルギー効率機器の採用を積極的に行うことで、建物外皮の熱負荷抑制に努めるよう計画した。				

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

CASBEE[®]新潟

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアルv.4.0、CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE新潟v.4.0.1

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)アルシェふるまち	階数	地上3F
建設地	新潟県新潟市中央区古町通13番町2900番5	構造	RC造
用途地域	第1種中高層住居専用地域、準防火地域	平均居住人員	70人
地域区分	5地域	年間使用時間	6,132時間/年(想定値)
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年12月 予定	評価の実施日	2018年3月12日
敷地面積	2,751 m ²	作成者	株式会社セブン建築設計事務所 守下
建築面積	1,010 m ²	確認日	2018年3月12日
延床面積	2,379 m ²	確認者	株式会社セブン建築設計事務所 守下



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.7 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

☆☆☆☆☆

標準計算

①参照値	100%
②建築物の取組み	91%
③上記+②以外の	91%
④上記+	91%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Qのスコア = 2.4

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.5

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.4

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.2

LR 環境負荷低減性

LRのスコア = 2.9

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.8

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.9

3 設計上の配慮事項		
総合	その他	
入居者一人一人に合った生活が送れる介護サービスの提供ができるようプランニングを行うとともに、地球温暖化に配慮した建物となるよう計画した。	高エネルギー効率機器の採用を積極的に行うことで、建物外皮の熱負荷抑制に努めるよう計画した。	
Q1 室内環境 自然採光に配慮した。	Q2 サービス性能 個室床面積を9m ² 以上とし、利用者の快適性向上に留意し計画した。	Q3 室外環境(敷地内) 建物外壁色を落ち着いた色彩とすることで、周辺のまちなみや風景にバランスよく調和するよう計画した。
LR1 エネルギー 省エネルギー法の基準に基づき、高エネルギー効率機器の採用を積極的に行った。	LR2 資源・マテリアル 節水型の衛生機器を採用し水資源の保護に努めるよう計画した。	LR3 敷地外環境 LCCO ₂ 抑制に努めた。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される